

< 高付加価値型農業の実践、認定農業者の育成及び農地・水・環境保全向上活動との連携を実施している事例 >

山間農業希望宣言

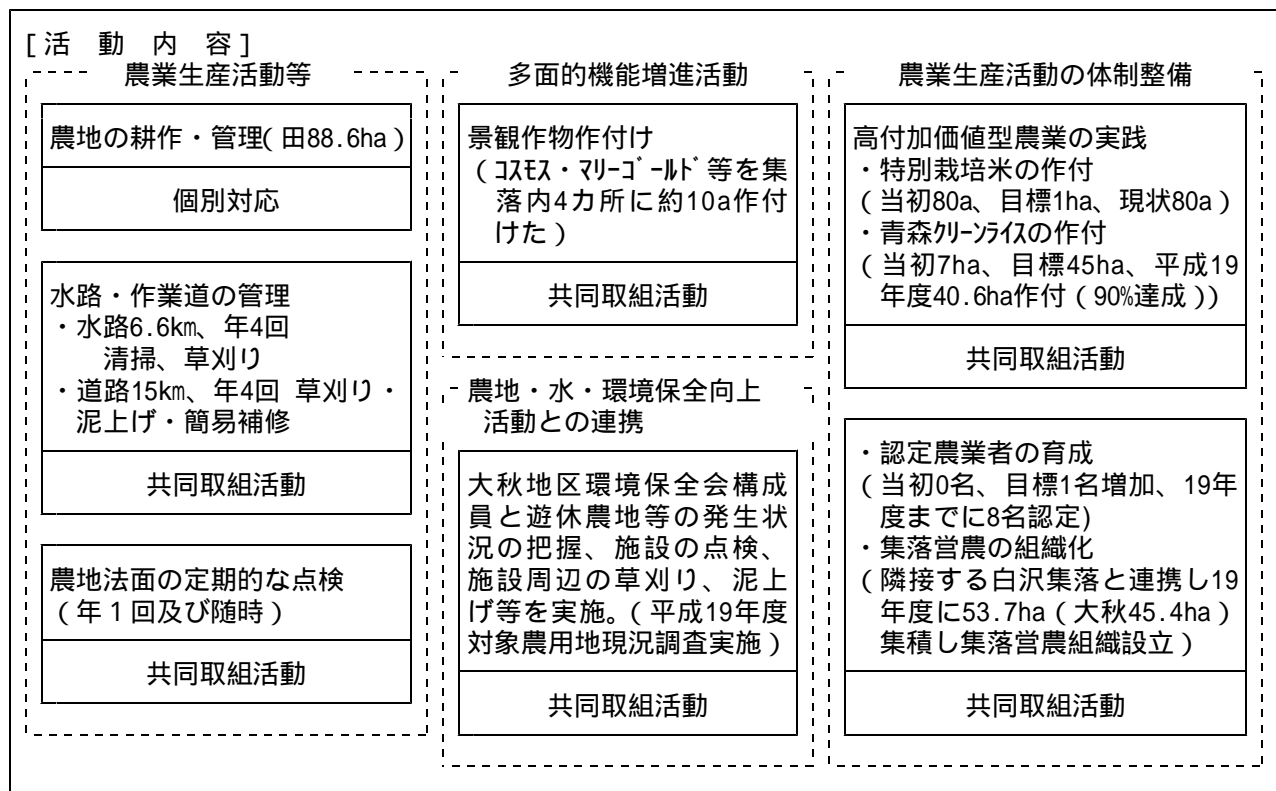
1. 集落協定の概要

市町村・協定名	青森県中津軽郡西目屋村 <small>なかつがるぐんにしめやむら</small> 大秋水田 <small>たいあきすいでん</small>		
協定面積 88.6ha	田(100%) 水稲・そば	畑	草地 採草放牧地
交付金額 970万円	個人配分	50%	
	共同取組活動 (50%)	担当者活動経費	2%
		体制整備に関する活動経費	21%
		水路・農道等の維持・管理等経費	15%
		農地維持管理等に関する活動経費	8%
		交付金の積立・繰越	3%
		その他	1%
協定参加者	農業者 54人		

2. 集落マスタープランの概要

当集落は世界自然遺産に指定された白神山地にほど近い山間集落である。水稲を中心にりんご、そば、しいたけ、いちご、メロン等多角経営に取り組み、農業生産活動は活発である。しかし、隣接する弘前市まで通勤圏内であるため、農業者の多くは兼業農家で非農家の割合が高まりつつあり、高齢化と後継者不足が課題となっている。

そこで、高付加価値作物の導入を進め、農業所得の向上を目指すとともに、認定農業者を育成していくこととした。



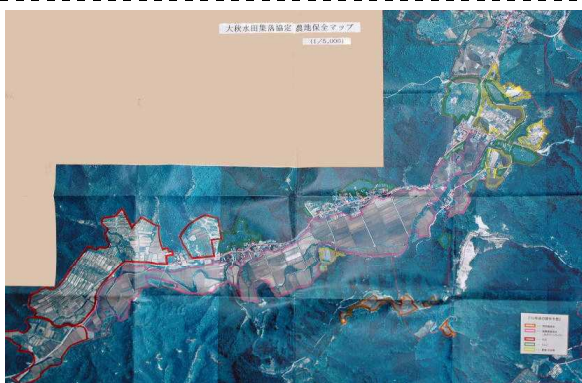
3. 取組の経緯及び内容

農産物価格の低迷により若い人の農業離れが進み、農業後継者の確保が難しくなっているため、青森クリーンライスの作付を拡大し高付加価値型農業を実践。認定農業者を育成する取り組みをすすめ、平成19年度までに8名が認定農業者に認定された。

さらに、平成19年12月には隣接する白沢集落と連携し、53.7ha（大秋地区45.4ha）の農地を集積、大白地区担い手組合を設立し集落営農に取り組むこととなった。

これまでは、協定参加者のみでの活動だったが、大秋地区会、西目屋村消防団第3分団、大白老人クラブ福寿会、大秋公民館婦人会、大白地区こども会の各組織と連携して集落の環境保全に取り組むため大秋地区環境保全会を設立し、農地・水・環境保全向上対策に取り組むこととした。平成19年度には対象農用地の現況調査を実施するなど積極的な活動を展開している。

農用地等保全マップ



農道・水路の草刈り・補修改良箇所。特別栽培米、青森クリーンライス及びそばの作付位置。景観作物を作付する位置等を色分けして記載した。



農道等の草刈り



景観作物のコスモス

[平成19年度までの主な効果]

景観作物の植え付け

(当初0a、目標10a、H19実績10a)

高付加価値型農業の実践

・特別栽培米の作付(当初0.8ha、目標1.0ha、H19実績0.8ha)

・青森クリーンライスの作付(当初7.0ha、目標45.0ha、H19実績40.6ha)

認定農業者の育成

(当初0名、目標1名増加、H19までに8名認定)